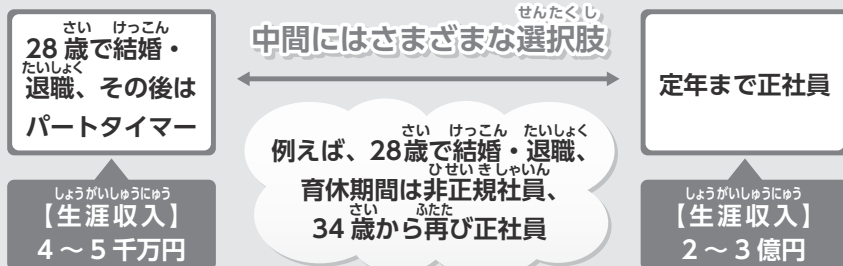


働く・産むの選択はとても重要です。 一人ひとりの未来と、日本の未来を変えます。

若い成人の約 9 割は、結婚して、2、3 人くらいの子どもの持ちたいと希望しています。しかし、近年は、30 歳直前の男性の 7 割、女性の 6 割が未婚で、その後、結婚しても子どもを 2 人持つに至らない家庭が多数を占めています。20 歳代の女性の 8 割ほどは就職しますが、結婚、出産、子育ての時期には、仕事を辞めたり、変えたりする人がたくさんいます。

働く・産むの選択はとても重要です。何をどのように重要視して選択していくか、自身の希望や能力、個性などを踏まえながら、十分によく考える必要がありますが、選択のタイミングにも気をつける必要があります。あとから挽回できることと、あとからの挽回が大変なことがあることを意識することが大切です。

働きかたと出産の選択



(備考) 収入、出産等は個人差が大きく、上記は「選択する未来」委員会での参考資料等によるイメージである。

出産時期の選択

早く産む (20代～)

<メリット>

- ・出産適齢期に産める
- ・体力がある、休んでもまだ大丈夫なポジション、子育てに頑張れる

<デメリット>

- ・同期に後れをとる気がする
- ・経済的な余裕がない

↑
(あとから挽回もできる)

遅く産む (30代後半～)

<メリット>

- ・キャリアを形成し、地位を固めてから産める
- ・経済的な余裕がある

<デメリット>

- ・流産や不妊リスクが高まる
- ・体力が低下、責任が重く育休をとりにくい、子育てが辛い

↑
(あとからの挽回が大変)

(備考) 収入、出産等は個人差が大きく、上記は「選択する未来」委員会での参考資料等によるイメージである。

働きかたの選択肢は増えています。柔軟な働きかたができるケースも増えています。結婚、出産に関しては、年齢が上がっていくと、女性、男性ともに、子どもを授かることが徐々に難しくなっていくことに気をつける必要があります。働きかたや出産時期などの違いによるメリット・デメリットを意識して、自分に合った選択をすることが大切です。

働く・産むの選択に際して、柔軟な発想、多様な観点を持って臨めば、希望はかなえられやすくなります。また、老若男女それぞれがイキイキと活躍できるように、もっと周囲の理解や助け合いが広がっていくことが望まれます。